

こあら組

朝夕はまだ寒い時もありますが、春らしくなって身体を動かしやすい季節になりました。園庭ではいろいろな花が咲き、虫もやって来て子どもたちを楽しませてくれています。特にアリやてんとう虫は砂場で多く見かけます。土の上を歩いているアリのじっと見て楽しんでいたり、てんとう虫をそっとつかんでみたりする子もいます。お部屋に帰って来てから絵本や図鑑の中にてんとう虫やアリを見つけて指さして教えてくれ、次の日にまたお外で虫を見つけることを楽しんでおります。私たち保育者も、そのような子どもたちの小さな発見や喜びを共感してまいりたいと思います。もう少しすると梅雨や汗ばむ季節に移り変わっていきますが、その時期ならではの発見や遊びをたくさん楽しんでいきたいと思っております。

(こあら組担任 田中ゆみ子)

ばんだ組

暦の上ではもう夏が始まり日中は汗ばむ季節となってきましたね。子どもたちも着替える際に「半袖がいい」と自分で選んだり水分補給をしている時には「おかわりください」とゴクゴクお茶を飲んでまた存分に遊ぶ姿が見られています。真夏よりも体が慣れていない暑くなり始めの頃が熱中症になりやすいと言われておりますので、水分補給、衣服調節をしながら注意深くお子様の体調も見していきたいと思っております。ばんだ組さんはデイリープログラムのアートやリトミックも始まりました。毎週楽しい造形遊びや、音楽に合わせて体を動かすプログラムに子どもたちも笑顔あふれ楽しんでおります。子どもたちは環境にも慣れお友だちと仲良く楽しく遊びこめるようになってきたことにより、まだ遊んでいたいと片づけたくないという姿もありますが、



日中の活動や、おやつ等、楽しい事が待っているから片付けようね、絵本ならこれを読んだら片付けようねと声をかけると、徐々にすすんでお片付けも出来るようになってきました。これからも子どもたちの気持ちを受け止めつつ納得して切り替えて行動出来るように、関わってまいりたいと思います。

(ばんだ組担任 猿渡 明日香)

6月の目標

こあら組

- ・身の回りのことに興味を持つ。
- ・探索活動をたのしみながら自然に触れる。

ばんだ組

- ・保育者や友だちと、水に触れて遊ぶことを楽しむ。
- ・簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。
- ・梅雨時の自然に触れる。



直前インフォメーション

○水遊び

6月20日(月)より水遊びが始まります。詳細は、HPにアップしますお手紙をご確認ください。

水着(女の子はワンピースタイプのもの)・タオル(体がくるめるものとボディタオル1枚ずつ)・水泳帽子・ラッシュガード(使用したい方のみ)を6月15日(水)までにお持ちください。また、汗ばむ季節となってまいりましたので、シャワーをおこなってまいりたいと思います。タオルのみ用意出来次第先にお持ちいただけますと幸いです。宜しく願いいたします。

○名前の記名について

カーディガンやハンカチ、ティッシュなどの無記名の物が目立っております。紛失防止のためお手数ですが持ち物全てにお名前の記名をしていただけますよう重ねてお願い申し上げます。

○当降園について

- ・これから水遊びが始まってくることや、爪が割れてしまう、お友だちや自分に傷をつけてしまう可能性がありますので、爪は定期的に短く切ってください。
- ・担任とご挨拶をしたとは園庭で遊ぶなどせず速やかにお帰りいただけますよう、ご協力お願いいたします。
- ・登降園は事故、迷子防止のため必ずお子様と手を繋いでお歩きください。



6月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

こあら組 「おつきさま こんばんは」

林 明子 作 福音館書店

子どもたちに大人気のお月さまの絵本です。静かな夜空にお月さまが出て来ます。そのきれいなシルエットの中にも素敵な物語が描かれています。子どもでなくても、描かれている素敵な夜空にうっとりしてしまいますよ。そして最後にクスッと笑ってしまいます。ぜひ読んでみてください。

ぱんだ組 「おべんとう」

小西 英子 作 福音館書店

からっぽのお弁当箱に何から入れようか？ほかほかのごはんにたこさんウインナー、一つずつ食材が詰められお弁当が完成していく様はわくわくしますよね！美味しそうな食材が出てくると思わず手を伸ばして口に運ぶ真似をしていますよ。お配りした絵本ですので、ご家庭でも読んでみてくださいね。



6月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

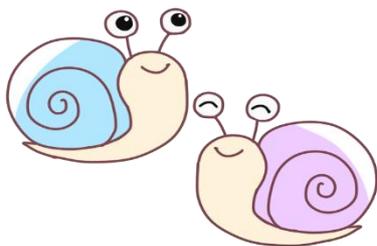
♪かたつむり

文部省唱歌

編曲 三森 桂子

1, でんでんむしむしかたつむり
おまえのあたまはどこにある
つのだせ やりだせ
あたまだせ

2, でんでんむしむしかたつむり
おまえのめだまはどこにある
つのだせ やりだせ
あたまだせ



♪あめふりくまのこ

作詞 鶴見 正夫 作曲 湯山 昭

編曲 三森 桂子

1, おやまにあめがふりました
あとからあとからふってきて
ちょろちょろおがわができました
2, いたずらくまのこかけてきて
そうっとのぞいてみました
さかながいるかとみました
3, なんにもいないとくまのこは
おみずをひとくちのみました
おててですくってのみました
4, それでもどこかにいるようで
もいちどのぞいてみました
さかなをまちまちみました
5, なかなかやまないあめでした
かさでもかぶっていきましょうと
あたまにはっぱをのせました



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることを紹介しております。
ぜひご家庭でもおこなってみてくださいね。



苦手なものもがんばるよ！

気持ちと食欲は繋がっているもので、入園当初はあまりごはんを食べられなかった子も、もりもり食べて完食をするようになってきました。その中でも苦手なものがあるお子様もいますよね。この年齢は味覚も発達してきて味の違いや食べ慣れていないものに躊躇する子もいます。そんな時どうしているか少しお伝えします。食事は楽しく頂きたいものですよね。苦手な物をずっと目の前に残しながら食事の時間が嫌な時間になってしまわないように、援助をしながらだらだら食べにならないようにしています。

○自分で選びます。

お子様によって食べられる量も違いますし、苦手なものがあつて残してしまつてごちそうさまよりも、お皿をピカピカにして食べきつたという自信に繋がられるように、配膳する時にお皿に盛る量を変えています。子どもたちに2つの皿を見せ比較しながら「どっちがいい？大きい方食べられそう？」と聞きながら自分で選べるようにしています。

○苦手なものがあった時は量を調節します。

苦手と残している時、無理に食べさせてはお子様も大人も嫌な気持ちになり疲れてしまいますよね。しかし子どもの気持ちを受け止めるといっても全部食べなくていいよと言うのもお子様のためにはなりません。なので、「どれがいやだったのかな？」「これを食べると風邪をひかなくなるんだよ」「じゃあこれを一口だけは食べて後は減らそうね。(食べられるようになったら3分の2と3分の1にして小さい方は食べようね。半分は食べようねと徐々に量を増やしていけるようにします)」とみんなの力の源になるのだと理由も伝えながら交渉をします。

○順番に提供します。

お子様はやはり喉越しのよい汁物やデザートを好みますよね。しかしお腹がすいている時に食べたいものを食べてお腹が満たされてくれば苦手なものを頑張れませんか。まだ自分で食べられる量を把握していたり全部を自分で食べられる年齢ではないので、ぱんだ組さんではおかず、ごはん、汁物、デザート順にフルコース形式で提供しています。交渉をしながら、先の楽しみのために頑張つてきれいに食べていますよ！

食事はだらだら食べず集中して楽しく食べられる時間となると良いですね！

日々ご家庭でもお子様の身体を想い、色々試行錯誤されていると思います。
何か一つでもヒントになれば…、そして子ども園で楽しく食べられている様子を引き続きお伝え出来たらと思います。

